

鹿角市の通説異説 Myth and different opinion in Kazuno City

①地勢

未定稿 Undecided draft

【1】昔、東北地方は、蝦夷（Emishi）と呼ばれていました。

一方、群馬県辺りは、上野国（かみつけののくに・かみつけのくに⇒かみつけの⇒かづの、かづぬ）と呼ばれていました。

東北地方は、上野国でもあったのです。

つまり、此処鹿角盆地一帯も、上野（かづの）の一部でした。

【2】古来、東北地方は、朝廷役人の「荘園」として支配されていました。

◇参照：奥州の藤使君を哭す

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1443199744117862404>

【3】中でも、鹿角盆地は、自然・鉱物資源など、豊かな郷でした。鹿角の郷を「豊岡」とも呼んでいました。

【4】ところで、AD915年、十和田湖の大噴火（十和田火砕流）により、当時の遺産遺跡は全て消滅してしまいました。

よって、それ以前の様子は、伝説によってのみ継承されて来たものと思います。

【5】米白川の呼称は、十和田火砕流（シラス）による白濁に由来すると思います。

◆鹿角市の通説異説へ戻る

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1443256164158869506>